



つくろう、 科学とともに ある社会

**11/3 (木・祝)
-11/6 (日)**

入場無料 ※一部、実費等を
いただく場合があります



Science Agora

サイエンスアゴラ 2016

会場：東京・お台場地域

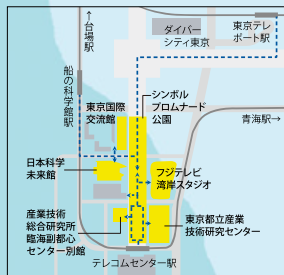
日本科学未来館、産業技術総合研究所臨海副都心センター、東京都立産業技術研究センター、東京国際交流館、フジテレビ湾岸スタジオ、シンボルプロムナード公園

主催：国立研究開発法人科学技術振興機構 (JST)

共催：日本学術会議、国立研究開発法人産業技術総合研究所、地方独立行政法人東京都立産業技術研究センター、独立行政法人日本学生支援機構、国際研究交流大学村、東京臨海副都心グループ、国立大学法人名古屋大学、国立大学法人東北大学災害科学国際研究所、大阪市立大学都市防災教育研究センター、静岡科学館等・く・る

協力：株式会社フジテレビジョン

後援：内閣府、外務省、文部科学省、独立行政法人国立科学博物館、独立行政法人日本学術振興会、国立研究開発法人理化学研究所、国立研究開発法人宇宙航空研究開発機構、国立研究開発法人海洋研究開発機構、国立研究開発法人日本原子力研究開発機構、大学共同利用機関法人自然科学研究機構国立天文台、一般社団法人東京臨海副都心まちづくり協議会、一般社団法人日本経済団体連合会、公益財団法人日本科学技術振興財団・科学技術館、東京都教育委員会、埼玉県教育委員会、神奈川県教育委員会、千葉県教育委員会、全国中学校理科教育研究会、全国科学博物館協議会、全国科学館連携協議会、日本科学技術ジャーナリスト会議、一般社団法人日本サイエンスコミュニケーション協会、公益社団法人応用物理学会、公益社団法人日本化学会



新交通ゆりかもめ

「船の科学館駅」東口下車 徒歩5分

「テレコムセンター駅」下車 徒歩4分

東京臨海高速鉄道りんかい線

「東京テレポート駅」下車 徒歩15分

*東京テレポート駅から日本科学未来館まで

無料巡回バスが約15分おきに運行



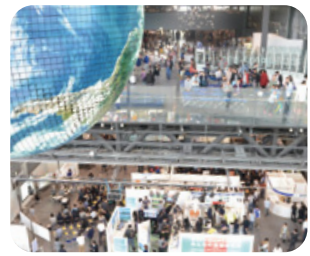
<http://www.jst.go.jp/csc/scienceagora/>

イラストレーション：奈良日向子 (筑波大学芸術専門学群)、アートディレクション：田中佐代子 (筑波大学芸術系)



サイエンスアゴラ 2016

つくる、
科学とともにある社会



サイエンスアゴラは、あらゆる人に開かれた科学と社会をつなぐ広場の総称です。

子ども向けの理科実験、トップ科学者との対話、市民参加の科学議論、展示など、誰もが参加できるプログラムが約200!

2016年11月3日(木・祝)～6日(日) 10:00-17:00 東京・お台場地域 入場無料

(最終日は一部を除き16:00まで)

※一部、実費をいただく場合があります。

展示、ワークショップもあります。

開幕・閉幕・キーノートセッションのご紹介

サイエンスアゴラ

検索

企画情報は現時点での予定であり、変更になる場合があります。企画によって開催時間や受付方法が異なります。最新の情報をホームページでご確認の上、ご来場ください。

11月3日(木・祝) 13:30-17:00 F会場 東京国際交流館(3階) 国際交流会議場

企画番号 Fb-652
[同時通訳あり]

開幕セッション つくる、科学とともにある社会

異なる分野、セクター、年代、国籍のリーダーを招き、これからの社会と科学のあり方をともに考え、語り合う。

株式会社DeNA創業者、現取締役会長の南場智子氏、AAAS(米国科学振興協会)のCEO、ラッシュ・D・ホルト氏の基調講演のほか、福島や熊本で震災に直面した経験を持つ高校生や科学者が「震災復興5年」をテーマにパネル討論を行う。

南場 智子(株式会社DeNA取締役会長)、ラッシュ・D・ホルト(AAAS(米国科学振興協会)CEO) ほか



南場 智子



Chet Susslin(National Journal)
ラッシュ・D・ホルト

11月3日(木・祝) 10:30-12:00

企画番号 Fb-651

F会場(東京国際交流館) 3階 国際交流会議場

「がん予防が切り拓く新しい社会」 がん予防の未来を考える会

<病になってから治療する社会>から、<病にならない社会>に向けて:

がん予防制度を実社会で確立するために必要な社会システムの改革に向け、社会に必要とされる科学の存在意義などを多様な参加者とともに議論する。

石川 秀樹(日本がん予防学会次期理事長) ほか



石川 秀樹

11月5日(土) 10:30-12:00

企画番号 Ab-117

A会場(日本未来科学館) 7階 未来館ホール

「人獣共通感染症へのチャレンジ」 日本学術会議 科学力増進分科会

タイやマレーシアなど、アジア圏を中心とした人獣共通の感染症予防に向けた学際的な取り組みや、感染症病原体ウイルスに関する最新の知見を共有し、人は感染症といかにつきあっていくべきかを考える。

甲斐 知恵子(東京大学 感染症国際研究センター 高病原性感染症系分野長)

小田 光康(明治大学 感染症情報分析センター長)

水谷 哲也(東京農工大学 国際家畜感染症防疫研究教育センター長) ほか



11月5日(土) 13:00-14:30

企画番号 Ab-118

A会場(日本未来科学館) 7階 未来館ホール

「うちの子、少し違うかも…～発達障害に対する 適切療育・支援のための研究開発～」

科学技術振興機構 RISTEX
社会技術研究開発センター

子どもの発達障害についての最新の研究報告と有識者によるパネルディスカッション。早期発見、療育、家族への支援の大切さについての理解を深めつつ、有識者との対話を通じて一緒に考えてみませんか?

神尾 陽子(国立精神・神経医療研究センター 部長)

船曳 康子(京都大学 准教授) ほか



神尾 陽子

11月5日(土) 13:00-14:30

企画番号 Fb-653

[同時通訳あり]

F会場(東京国際交流館) 3階 国際交流会議場

「INNOVATION BY DESIGN ー科学とデザイン」 京都工芸繊維大学 KYOTO Design Lab

社会的課題の発見と解決に取り組むKYOTO Design Labでは、科学者とデザイナーが協働し、稀少難病患者のための創薬プロセスの開発等に関わっている。ステークホルダーとの対話により生まれた成果を紹介しつつ、共創の形を考える。

小野 芳朗(KYOTO Design Lab ラボラトリー長、副学長)

ジュリア・カセム(KYOTO Design Lab 特任教授)

マルセル・ヘルマー(KYOTO Design Lab

デザイン・アシリエイト) ほか



小野 芳朗

11月5日(土) 15:30-17:00

企画番号 Fb-654

[同時通訳あり]

F会場(東京国際交流館) 3階 国際交流会議場

「芸術、科学、技術、クリエイティビティ」 駐日欧州連合代表部

「機械自身が、クリエイティビティをもつことはできる?」「創造というプロセスにおいて、感情や感覚はどの程度重要?」など、さまざまな質問を取り上げ、近い将来、どのような影響や挑戦をもたらすか、日欧の専門家が議論を交わす。

ゲルフリート・ストッカー(アルスエレクトロニカセンター ディレクター)

渋谷 慶一郎(ピアニスト/電子音楽アーティスト) ほか



ゲルフリート・ストッカー

11月6日(日) 13:30-15:00

企画番号 Ab-121

[同時通訳あり]

A会場(日本未来科学館) 7階 未来館ホール

「震災から5年 ～いのちを守るコミュニティ～」 大阪市立大学 都市防災教育研究センター(CERD) 東北大学 災害科学国際研究所(IRIDeS)

震災後、阪神・淡路、東日本、熊本で取り組まれている「いのちを守る」活動について紹介。コミュニティ再生や防災教育に取り組む研究者のほか、被災地の高校生も登壇。

森 一彦(大阪市立大学都市防災教育研究センター 所長)

中鉢 奈津子(東北大学災害科学国際研究所 特任助教) ほか



11月6日(日) 15:30-17:00 F会場 東京国際交流館(3階) 国際交流会議場

企画番号 Fb-656
[同時通訳あり]

閉幕セッション サイエンスアゴラのこれまで・これから

多様な関係者を招き、次年度のテーマや、サイエンスアゴラが目指すビジョンについて、討論する。

同時開催

セーフティグッズフェア
with サイエンスアゴラ 2016

11月4日(金)～6日(日) 10:00-17:00(初日14:00開始/最終日16:00まで)

会場:東京都立産業技術研究センター1階・3階

主催:東京都、東京都立産業技術研究センター、キッズデザイン協議会、産業技術総合研究所

子供の安全・安心を考慮してデザイン開発された商品を、生活シーンごとに分かりやすく展示します。暮らしの安全について親子で楽しく学べるワークショップやセミナーもあります。